

もう春なのに BLANK BED BLUES (4'00")

(歌) 杉山賢人 & ヴァレンタイン・ブルース

3月始めにライブアルバムを発売し一躍、新進気鋭のSSW、フォークシンガーとして世に出た杉山賢人が突如無名のロックバンド、「ヴァレンタイン・ブルース」と組んでロックテイストあふれるフレッシュなナンバーをリリース。

この無名バンド「ヴァレンタイン・ブルース」は東京出身でベース太野雨民、サイドギターでオルガンの小滝栄二、リードギター車屋茂、ドラム梅本隆の4人組の青年たちである。杉山とセッションを繰り返し、アレンジされた春にぴったりのナンバー「もう春なのに」は、杉山の音楽に新しい風を吹かせる事でしょう。

しかしながら「ヴァレンタイン・ブルース」との活動はこのシングルで一旦終わりとなり、この2組は別々の道を歩むそうです。杉山はケニー杉山と彼のナイスバンドとのバンド編成での活動もあり、今後はソロとナイスバンドとの活動を軸に動いていくそうです。



アルバム好評発売中！
2022年12月23日西神田にて
CMST001
2,000円(税別)
僕はB面
冬の陽
雨上がりだよ
他

■ もう春なのに 杉山賢人作詞・作曲
からのベッドの中で一日を過ごしてます
においが君の不在を確かめています
太陽がある時が僕の心を試してる
似たような事が前にもあったような

身体がどうにもあちこち痛みます
耳立てて外の音を聴いています
誰にもある様な事かもしれないけど
似たような事が前にもありました

もう春なのに
君がここにいらない
太陽の光が舞い踊るから
君の横にいたい
もう春だから

もし次があるなら又出会えますか
使えるだけの命を使い果たしてさ
嵐みたいに初めてをしゃいだりして
見たような事を何度も繰り返すのさ

もう春なのに
君がここにいらない
太陽の光が舞い踊るから
君の横にいたい
もう春だから

